

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	1	法人理念・施設理念を掲示し、職員や家族様、外部訪問者にも周知徹底に努めているが、職員の関心や理解が薄い。また、今年度は事業計画の開示が不十分であった。	事業所運営の根源である理念は、年度毎に策定する事業計画にきちんと反映させることが重要。その上で分かりやすい明瞭な表現を徹底し、理解と周知に配慮する。	職員会議等の場において、理念の理解を深める機会を設け、職員へ周知徹底を心掛ける。	6ヶ月
2	33	家族様より終末期に向けた体制についての確認や問合せを受ける機会が増えてきている。	終末期に向けた体制構築を目指し、そのための取り組みとアクションを具現化する。	主治医を中心として職員・専門職や外部関係機関と体制づくりの話し合いの機会を持つ。	12ヶ月
3	40	火災や地震・水害に備えた避難訓練は実施できているが、避難所としての機能や備蓄などがまだまだ不十分である。	福祉施設の災害に対するぜい弱性が指摘されている中、自施設の災害対策の向上を目指す。	行政や消防から発信されている指針やチェックリストを取得し、今の状況で出来る取り組みや整備を急ぐ。	6ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。